

香川大学大学院農学研究科（修士課程）  
学位論文審査基準及び審査体制・方法について

香川大学大学院農学研究科の学位論文及び最終試験に関する取扱い要項に基づき、学位論文審査基準及び審査体制・方法を以下の通り定める。

1. 学位論文審査基準

(1) テーマ設定

① 当該分野の発展への貢献

- ・農学に関する課題解決や深化に関連するテーマが設定されている。

② オリジナリティ

- ・研究課題の背景を理解し、独自性が示されている。

(2) 研究内容とその記述

① 目的の明示

- ・研究の目的が適切に述べられている。

② 研究方法の妥当性

- ・課題解決のための適切な実験方法の選択と創意工夫がなされている。

③ 研究倫理

- ・必要に応じて、倫理上の問題に対する適切な対応を行っている。
- ・データの改竄や捏造、盗用等の不正を行っていない。

④ 記述法・ルール

- ・実験結果のとりまとめと図表作成が適切である。
- ・関連する国内外の文献の収集と文献引用が適切である。
- ・論文の体裁および表現が適切である。

⑤ 結果の考察とまとめ

- ・研究目的を達成するために十分な量のデータを得ている。
- ・得られたデータに基づいた客観的な考察がなされている。

(3) 成果

① 成果の水準

- ・当該分野における学術的な成果が得られている。
- ・研究成果による社会への貢献が期待できる。

{成果の公表（学会発表，論文掲載など），成果の応用など}

2. 学位論文の審査体制・方法

(1) 審査体制

- ・学位論文は審査委員会において審査される。審査委員会は、専攻長により推薦され、研究科委員会において選出された審査委員（主査1名，副査2名以上）で構成される。

(2) 審査方法

- ・上記(1)審査体制により、提出された論文を「1. 学位論文審査基準」に基づき審査し、基準を全て満たしたものを学位論文として合格とする。